

## フロン排出抑制法に関する表示義務

「フロン排出抑制法」に基づいて義務付けられている本ラベリング制度は、フロン類の種類や環境影響度等を記載し、指定製品等の購入者が直感的に低GWP・ノンフロン製品を選択できるように表示することを目的としています。

**バックスフレイム®**に使用するフロン情報は下記の通り、地球環境への影響が最も低い、ノンフロン製品です。

品名：SYL14、15、16  
用途：住宅・一般建築用  
発泡剤：HFO  
使用量：20%以下  
ODP(オゾン破壊係数):0  
GWP(地球温暖化係数):1あるいは1未満  
目標値：100以下  
目標年度：2020年度

## フロンラベル

この商品で使用しているガスの地球温暖化への影響は？



●お問い合わせ

●製品・全般に関するお問い合わせ

## 積水化学工業株式会社 耐火材料営業所

【東京】  
TEL.03(5521)0526 FAX.03(5521)0547 〒105-8450 東京都港区虎ノ門2-3-17(虎ノ門2丁目タワー)

【大阪】  
TEL.06(6365)4152 FAX.06(6365)4215 〒530-0047 大阪市北区西天満2-4-4(堂島関電ビル)

MAIL: puxflame@sekisui.com  
http://www.sekisui.co.jp/fp/

- 掲載内容は予告なく変更することがあります。
- 印刷のため、色調は実物と異なることがあります。
- 当カタログからの無断転載は固くお断りします。
- バックスフレイム®は積水化学工業株式会社の登録商標です。

# SEKISUI

断熱+不燃を  
併せ持つ  
新素材

単一材料の  
吹付けで  
工期短縮

# PUXFLAME

## バックスフレイム®

ウレタン系現場発泡不燃断熱材

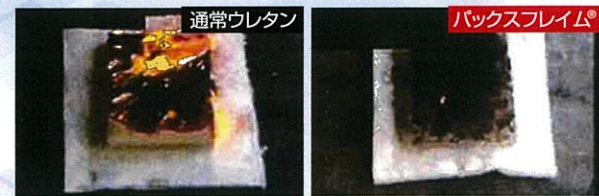
有機材料として、  
国内初の不燃認定を取得



これからの現場に最適な、断熱 + 不燃素材です。

### パックスフレイム®とは

有機材料として国内初の**不燃認定**を取得したウレタン系現場発泡不燃断熱材です。**断熱+不燃**を併せ持った新素材であり、**施工中の安全性向上**のご提案も可能にする製品です。



溶断火花試験

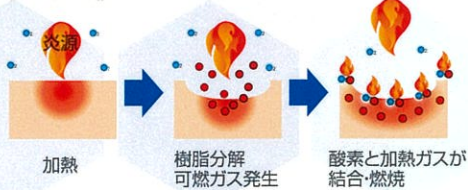


バーナー燃焼試験

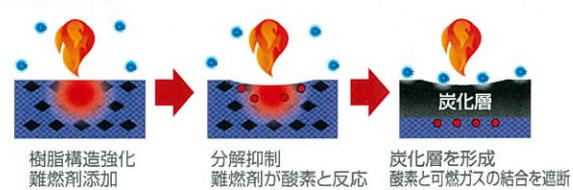
炎が当たった際、表面に炭化層を形成し、燃え広がりを防ぎます。

### 不燃性能の発現機構

【通常ウレタン】



【パックスフレイム®】



### パックスフレイム®の用途・使用例

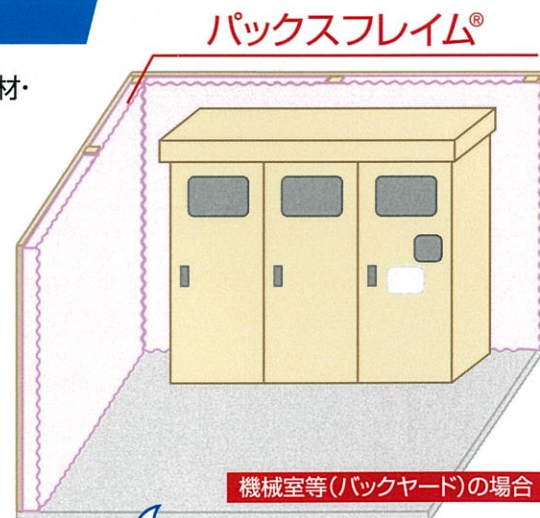
建物用途や条件による内装制限で法的な不燃を必要とする場合、断熱材・結露防止材として、ご使用可能です。



仕上げ材に不燃材料を施工します。



外観を気にせず、コストや施工時間を省きたい場合でも、内装不燃に適用させる必要があります。



パックスフレイム®そのものが断熱性も不燃性も併せ持つため、内装不燃に対応可能です。

### 用途

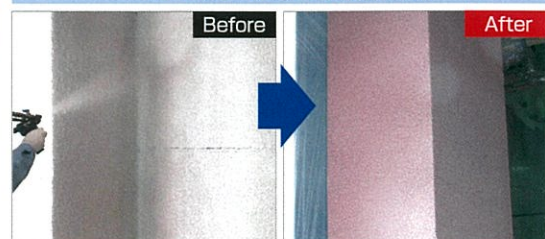
- 一般建築結露防止 (ビル・マンション・事務所・工場・倉庫等)
- 駐車場天井
- 免震層天井
- その他、不燃断熱が求められる所

※1 法的に不燃に関係なく、安全性向上の用途にも使用可能です。

### 施工実績

物件	施工時期	施工面積(m <sup>2</sup> )	施工箇所
A	2016.10	600	機械室
B	2016.12	1,200	機械室
C	2017.1	11,000	免震ピット
D	2017.2	9,000	天井、壁
E	2017.3	21,000	免震ピット

### コンクリート壁での施工例

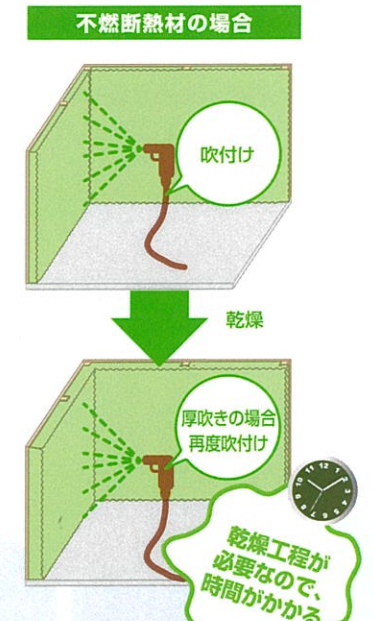
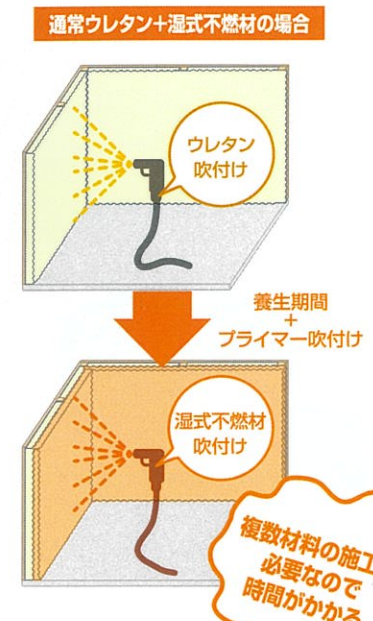
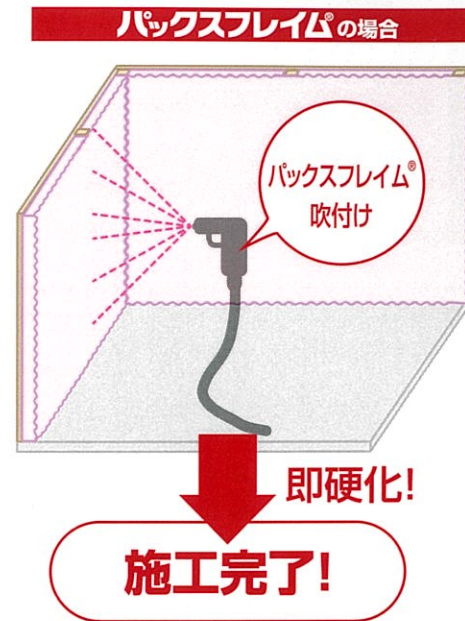


※1 ウレタンの特性上、紫外線劣化を引き起こす場合があります。

### パックスフレイム®の特長

#### 特長 1 工期短縮

- 単一材料なので一回の施工でOK!
- 吹付け後即硬化するので、乾燥時間が短縮!



#### 特長 2 断熱性能

- 吹付硬質ウレタンフォーム相当の断熱性で厚みを低減!

パックスフレイム®の熱伝導率は**JIS A 9526 吹付硬質ウレタンフォームA種1H相当**です。吹付硬質ウレタンフォーム区分内では最高クラスの断熱性能のため、不燃断熱材厚みを削減できます。

製品名	パックスフレイム® (A種1H相当)	湿式不燃断熱材	吹付硬質ウレタンフォームA種1H + 湿式不燃材	吹付硬質ウレタンフォームA種1 + 湿式不燃材
熱伝導率(W/mK)	0.026 <sup>※2</sup>	0.044	0.026	0.034
構成	単一材料	単一材料	吹付硬質ウレタンフォーム+不燃材	
厚み(mm) <sup>※3</sup>	15	25	15+12	20+10
	20	34	20+12	26+10
	25	42	25+12	33+10
	30	51	30+12	39+10
	35	59	35+12	46+10
40	68	40+12	52+10	

※2 設計推奨値を記載しております。  
※3 上記値は、計算により同一の断熱性能を示す厚みを記載しております。  
基材によって認定範囲が異なるため、実際の施工可能厚みが異なります。

### パックスフレイム®の認定取得状況と適用範囲

#### 防火認定内容

認定番号	吹付基材	認定厚み(mm) <sup>※4</sup>	適用下地例 <sup>※5</sup>
NM-4673	金属板	6~48.6	コンクリート壁、コンクリートスラブ、
NM-4674	金属板を除く、不燃材料	15~37.5	押出中空セメント板、ALC板 等

※4 今後、認定厚み上限は拡大予定です。  
※5 建設省告示第1400号に含まれる不燃材料です。

#### 物性データ<sup>※6</sup>

圧縮強さ(kPa)	透湿率(ng/(m·s·Pa))	接着性(kPa)	遮音性 <sup>※7</sup>	F☆☆☆☆
265	5.6	113	32	告示対象建築材料外 <sup>※8</sup>

※6 上記物性値は測定値であり、保証値ではありません。設置環境や施工条件により変化する可能性があります。  
※7 遮音性は、周波数500Hz時の数値です。  
※8 国土交通大臣が規定するホルムアルデヒド発散材料対象外の材料は面積使用の制限がありません。(告示規制材料対象外の建材はF☆☆☆☆等の表示をする必要はありません)

